

多摩のくらし～歳時記～神棚の祀り方～

日本では家に仏壇と神棚と同居していることは当然のようです。神棚を祀るようになったのは、江戸時代に「お伊勢参り」のような講組織がたくさんできて、毎年、全国の神々の護符（お札）が民間に配布され、その安置所として神棚が普及したことが始まりです。家で毎日神棚にお祈りができることにより、気持ちが落ち着きます。そして、暮れになると神社から新しいお札を届けてもらい、古いお札と交換し、新しい年を迎えるのが習わしとなりました。

神棚の祀り方にはいろいろと決まりことがあります。一例として、神棚は鴨居より高い位置に取り付けます。そういう場所がない場合には、タンスの上などに祀っても差し支えありません。他の制約として、①家の中心部、②神棚の下を人が通る廊下や潜り戸などの通り抜け、③道路からじかに見える場所、④神棚の向きが門、入口、台所、仏壇と向かい合ったところは良くないと言われて

います。また方角は、東向きか南向きが良いそうです。以上は平屋の場合の制約で、現代は二階建てがほとんどなので、家人の足の下になるような場所を避け、二階の押入れの下にあたるような場所に祀ります。この場合には必ず神棚の上の天井に正方形の白紙に斜めに「雲」、「天」と書いた紙を貼っておきます。これは神様の上が雲のたなびく天空で、「人が神様の上にいるのではない」という意思表示のためです。神棚そのものの材質は、潔斎の意を表して檜などの白木（素木）製、スタイルは神明造りがほとんどです。また、縁起数とされる奇数の神々を祀るよう一社造り、三社造り、五社造りというように作られ、天照大神や氏神を併祀できるものもあります。注連縄（七五三縄）は、向かって右が結び目の太いほうにお飾りします。（川口キン）



たま今昔

区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その10 多摩水道橋



多摩区ふるさと写真集「より」より 登戸の渡しから 二代目多摩水道橋に
撮影：奥原徳太郎氏

昔 登戸と狛江とを結ぶ現在の多摩水道橋の近くに、かつて「登戸の渡し」がありました。それは、津久井往還の登戸渡船場ですが、1952（昭和27）年まで現役でした。小田急線の開通が1927（昭和2）年なので、この渡船の風景は約26年間も続いたのです。

今 もともと初代水道橋は、川崎市にある東京都水道局・長沢浄水場の水を東京都に供給するための導水管を渡す橋として計画されたものです。しかし、地元からの要望により道路水道併用橋となりました。その後、交通量の増加や橋の老朽化によって、2001（平成13）年、新しい4車線の橋に架け替えられました。

【文：稲田郷土史会】

編集後記

この広報誌の兄貴分として多摩区の話・情報を掲載しているのがホームページです。兄貴と言うだけあって文字数や写真スペースに余裕があるため、より自由で、よりバラエティー的な要素がいっぱいです。一度こちらもご覧ください。もちろん運営しているのは私たちが広報編集部です。（河崎）

■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyoo.com/>

たまの顔 生田の天然水 恵水（めぐみ）

大震災以後、特に安心・安全な水の重要性が求められている時、「生田の天然水 恵水（めぐみ）」が2014年モンドセレクション金賞を受賞しました。「恵水」は、多摩区管にある川崎市独自の水源の浅井戸から汲み上げる地下水を原料として、熱処理消毒と、ろ過により不純物を取り除きペットボトルに詰められています。ミネラル分を適度なバランスで含むナチュラルミネラルウォーターで、まるでやけど飲みやすいと好評です。製造開始は2003（平成15）年7月。年間6万本程度製造しています。

水道キャラクター「ウォータン」 災害時には、1人1日に3ℓ、3日分（9ℓ）の備蓄が必要と言われています。川崎市上下水道局では、今年5月から配送サービスを始めたそうです。（平日・川崎市限定） [取材：古川]

.....
恵水のお問合せ、注文は…
上下水道お客さまセンターまで
電話 200-3548 FAX 200-0041



多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



タマ
TAMA

多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2014年 (平成26年)10月

45号



多摩の風景

盛り上がり、多摩区民祭!

多摩区で最大のイベントである多摩区民祭が10月18日（土）に開催されます。会場となる生田緑地には、区内団体による出店や展示をはじめとして、アトラクションや舞台公演も予定されていますし、民家園などの施設でも区民祭に合わせた催し物も開催されます。

37回目を迎える今年のテーマは「この指とまれ! 2014」。お友達、カップル、家族でご来場いただき、大いに盛り上がってください。

多摩区民祭実行委員会



多摩区民祭の全てを取り仕切る団体です。構成メンバーは約90人。みなさんはいろいろな団体の主要なメンバーでもあります。区民祭の準備は6月ごろから始まるそうなので、イベントを成功させるために常に面白い企画を考えているとのこと。ちなみに昨年は7万7000人が訪れたそうです。

電話 044-935-3133 (事務局)

多摩区まちづくり協議会

まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っているさまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

Project マグネット多摩 New! 記事 葛生

多摩区まちづくり協議会の新プロジェクト「マグネット多摩」が8月から活動を開始しました。市民活動団体の基本情報、イベント開催チラシなどをまち協のホームページ上に掲出し、その情報を一元的に閲覧できるよう、また区民のみならず PC / スマホで同 HP にアクセスすることにより、いつでもどこでも活動団体のイベント開催情報を取得できる利便性を提供するものです。



マグネット多摩のギャラリーサイトのイメージ

「花と緑と人のコラボ」 記事

川崎市緑化センターまつり開催！ 古川

緑化センター（宿河原）では、青空教室、野菜市、フリマ、手作り市、模擬店などが並びます。地域活動団体による楽しいイベントや講習会、子ども向けの工作や遊びのブースもあり、今年も大勢の来園者が予想されます。また、「川崎市緑化センターまつり写真展」も開催され（11月1日から当日まで展示）、来園者が展示作品に投票し、その結果がまつり閉会時に公表されます。ぜひ参加してみませんか？



芝生広場に人がいっぱい

【日時】11月8日（土）午前10時～午後3時（雨天翌日）

子育て団体！ 記事 鈴木

ままとんきっず

稲田堤を拠点に、子育て情報を発信しています。働いていたママさんが、いざ子育てを始めると、育児に関する情報の少なさに気が付きます。そんなママさんたちの子育てが、もっと楽になる仕組みを、常に提供しています。



気軽に立ち寄りください

現在は「グループ保育」に力を入れています。1歳半～未就学児を対象とした、一時預かり。少しの時間、お子さんと離れることによりママ友とランチをしたり、ホッと一休み。

多摩エコスタイル 記事 三枝

毎日の食事をエコに

エコスタでは「緑のカーテン」で省エネしながら夏を涼しく過ごすために、春はゴーヤの育て方講座、夏には収穫したゴーヤを使って「エコショッピング・クッキング」を開催。今回も幅広い年齢層の方が料理室に集い、お買い物から調理、後片付けまで、環境負荷を減らすヒントを学びながら、同じメニューに挑戦しました。毎日の食事のエコについて考えていくと、生活そのものもエコに変わっていきます。材料のゴーヤは区役所の緑のカーテンからもご提供いただき、苦くて食べにくいので、甘いママレードと組み合わせたり、ヨーグルト入りのジュースにしたりして、おいしくいただきました。



エコで生活が変わる！

多摩エココレクション 記事 山下

商店街との連携を模索中

「多摩区のエコ情報の発信」「商店街との連携」、2つの思いから、多摩エココレクション（商店街編）の活動を始めました。各店でのエコの実践をアンケート調査し、商店街エコマップを作成。展示会を行い、市民の皆さんの声を聞きました。調査を通じ、商店の皆さんのエコに対する工夫や、商店街の悩みを知り、なじみのお店ができました。「レジ袋の削減」「生ごみのたい肥化」「リサイクルの推進」など、もっと市民と連携ができないか、これからの取り組みを模索中です。



エコマップの一部

多摩区の秋の色 記事 藤田

11月下旬、多摩区も秋の色に染まります。生田緑地（民家園の近く）、その北側の広福寺の紅葉は、毎年大勢の人がカメラ片手に訪れます。また、菅北浦の七色並木、少し登りになりますが、稲田堤駅から、もみじ通り、いちょう通りと並木道を散策されるのもお勧めです。他にもお勧めをご存知でしたらご一報ください。



上：菅仙谷のみみじ通り
右：栢形の広福寺

生田緑地ばら苑 記事 鈴木

今秋は10月10日（金）から11月3日（月）まで開催されます。ばら苑は、ボランティアの方々によって支えられています。また、入苑料は無料です。開苑期間中は、入口に募金箱を設置しています。これによってばら苑を支えていくことに協力できます。そんな人たちの温かいつながりで成り立つばら苑は、地域の理想像かもしれません。是非、一度はお出かけください。



ボランティアによる作業

多摩★まち大学 40代からはじめる 地域活動のススメ 記事 高瀬

～地域に役立つオヤジになろう～

多摩★まち大学での「地讀人」企画の第一弾として、大下勝巳氏（NPO法人かわさき創造プロジェクト代表理事）をお呼びして8月30日（土）に開催しました。流れのある口調・説得力のもと、「地域活動七つの勘どころ」など、大変貴重な話を楽しく聞き、学ぶことができました。



大下勝巳氏

*「各分野で活躍している川崎市多摩区在住の著名人の話を聞いてみる」という本年度からの新企画

多摩★まち大学 市民活動のための 集客術 記事 粕谷

平成26年度第三回目の多摩★まち大学（9月30日）は、市民活動に直接役立つ「間違えないチラシ作りとプレスリリースのコツ」。講師は多摩区まち協コンサルタントの千葉氏とまち協委員の高瀬氏が務めました。ほぼ満席の会場の中、区民会議や生田緑地の関係者など、初めて参加される団体が多かったのが、とても印象的でした。



高瀬健男氏



千葉晋也氏



多摩区観光協会 設立記念イベント 記事 藤田

今年の「多摩区観光協会」の発足を記念して、「輪っ・和っ・話っ、多摩区の魅力大集合」をテーマに、9月21日（日）多摩区総合庁舎で記念イベントが開催されました。市民館大ホールでは、こどもにも楽しい8つの多彩なプログラム、ゆるキャラ8体参加の握手会、観光スポット紹介のための展示、また、美しい記念切手の販売も行われました。



ゆるキャラとの握手会



長尾子ども太鼓が会場に響き渡る

まち協のイベント情報（10月～12月）

多摩エコスタイルプロジェクト

10/18（土）9:00～ 「多摩区民祭」への出展 @生田緑地
エコスタの活動紹介＆エコ体験ブースが出ます。

多摩★まち大学（他都市視察研修会）

11/14（金）8:10～ 立川市大山自治会に観るコミュニティ再生術！ @立川市大山自治会ほか
[集合] 多摩区総合庁舎横（不二家側）
[人数] 40名（先着順）
[参加費] 1,500円（弁当代/資料代など）

大型バスで巡る、他都市のまちづくり事例見学会です。
※申し込みが必要です。詳細はチラシおよびホームページをご覧ください。

※イベントの内容は変更になる場合があります。